

## 校長研修だより63

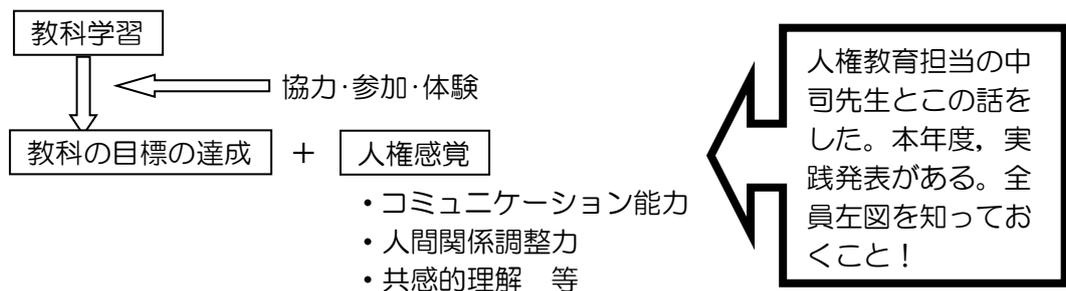
### 学級経営の話③「ルールとリレーション」

～「再契約」の6月～

2022・6・14 重枝 一郎

#### ◆「人権教育」の視点に立った授業づくり

協力、参加、体験の場面を学習過程に組み込み、教科の目標と同時に人権感覚を育成する意識



つまり、授業では生徒は「学びの主体として、学習の対象となる物事に関わっていく（主体的）」「対象に働きかけて、フィードバック情報を得る営み（対話的）」をすることになる。そのためには、当然、学級の間人関係や雰囲気は大切である。

#### ◆実践志向の積極的な人間関係づくり（グループワーク TR）

##### （1）授業でのグループ活動のツボは「ルール」と「リレーション」のコラボ

###### ① 3つのルール

「他者と関わる時」「集団生活を送るため」「みんなで活動するとき」

###### ② ルールの定着のさせ方

「守ることの意味を事前にチェック」「デモンストレーションでわかりやすく手本を見せる」「教科とは関係ないグループワークを通して実際に守らせる」

###### ③ ルールの効果を実感させる⇒ルールの効果をみんなで振り返る

###### ④ ルールを守るとリレーションもできてくる⇒人づき合いの不安がなくなるから

###### ⑤ そして、リレーションはルールを守らせる⇒居心地がいいのはルールがあるから

##### （2）【説明】→【課題】→【振り返り】→【まとめ】→【日常化・意識化

###### ・暗黙化】

###### ① 【説明】はわかりやすくていねいに

「今日は〇〇について学びます」「目標を共有」「マインドセット」。もし、生徒がゾーンに入らないときは「私はこの授業を結構、苦勞して用意したんだ。一生懸命やってくれたら君たちなら必ずいろんな気づきができるだろう。そしたら私はう

れしい」みたいなアイメッセージで思いを伝える。

②【課題】はルールを守って、真剣に

グループ形態をとる時も、ルールを守ることが、学習の効果を高める。聴く必然性、話す必然性を持たせる。まず教師は、そのサポートに全力投球。生徒の言動や変化を覚えておいて、途中の声かけや後のまとめに生かせるようにする。いいムードで参加していたら半分はOKと考えてよい。

③【振り返り】は必ず

振り返りシートは、他者を介して自己理解できるようにしておくといよい。学習の定着（意味面）と人間関係づくり（感情面）の両方を行う。感情面は、プラス返しを原則とし、個人の気づきを大切に、グループに広げていくシェアリングが大切。同時にルールの暗黙化をめざしていく。やり方は「口頭で感想だけ（プラスのストローク合戦）」「いくつかを発表」「学級だよりにまとめる」など、時間の関係や生徒の実態でさりげなく判断する。

④【まとめ】は各グループ、個人の振り返りを生かして、気づきを豊かに

シェアリングすることで、学習の定着だけでなく、ルール・マナーや思いやりや配慮のスキルを高めていく。

⑤【日常化・意識化・暗黙化】授業の後で、その気づきが 日常生活に効果的に働くようにしよう

授業で出た対人関係の気づきを日頃の声かけや指導に生かして、日常生活に反映させる。生徒のよい変化をほめることでその言動が定着していく。